

2020年3月24日  
マツダ株式会社

## 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生産調整について

新型コロナウイルスにより、お亡くなりになられた方にお悔やみ申し上げますとともに、体調を崩されている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、各国で、外出禁止、小売営業停止、企業活動の制限などの防止措置が急速かつ大規模に強化されています。この新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う部品調達問題、主に海外市場の販売の急激な停滞、今後の市場環境の不透明性を考慮し、各国の工場において生産調整を実施します。

本社工場(広島県安芸郡府中町・広島市南区)および防府工場(山口県防府市)において、3月28日から4月30日までの間、13日間の操業を休止し、加えて8日間は昼勤のみ稼働とする計画です。このうち一部については、状況を見ながら、2021年3月期第2四半期以降に操業を振り替える予定です。この期間における間接業務は従来通り継続します。

海外工場について、メキシコの生産拠点「Mazda de Mexico Vehicle Operation」は、3月25日から約10日間、タイの生産拠点「Auto Alliance (Thailand) Co., Ltd.」は、3月30日から約10日間、各々操業を休止する計画です。

日本、中国等においては、販売活動を継続、その他地域においては、各国政府による新型コロナウイルスの感染拡大防止の方針に従って市場毎に適切に対応しつつ、お客さまへの販売やサービスへの影響を最小限に抑えるよう努めてまいります。あわせて、ご協力いただいている地元のお取引先さまへの影響を最小限にするよう取り組んでまいります。

マツダは、地域の方々、お客さま、従業員の健康と安全を第一に考え、在宅勤務や社内・販売店の消毒等感染拡大防止に向けた取り組みを継続してまいります。

以上